

授業科目 クリティカル・周手術期看護学演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	看護
渋谷優子 新谷恵子 荒木玲子	開講時期	後期	必修・選択	必修
栗原弥生 阿部勝子 石山香織	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

クリティカルケア・周手術期看護を行うために必要な知識と技術を学び、適切なケアを習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. クリティカル・周手術期の状態にある対象を理解する。
2. クリティカルな状況にある対象に必要な援助を列記できる。
3. クリティカルな状態にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する。
4. 周手術期にある対象を理解し、必要な援助を列記できる。
5. 周手術期にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する。
6. 演習を通して、クリティカルケア・周手術期看護を実践する準備をする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（授業の進め方・演習について） 周手術期・術前の看護に必要な知識と技術（術前アセスメント・オリエンテーション）	1.4 4	講義 荒木 栗原
2	周手術期・術前の看護に必要な知識と技術（術前訓練・手術に向けた身体準備など）	4～6	講義 荒木 栗原 演習 全員
3	周手術期・術中の看護（手術室看護に必要な知識と技術）：手洗い法など	4～6	講義 荒木 栗原 演習 全員
4	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（術後の患者の受け入れ準備・観察法）	4,5	講義 荒木 栗原
5	演習：手洗い法・ガウンテクニック・術後ベッド作成など	4～6	演習 全員
6	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（合併症予防に必要な技術・早期離床）	4,5	講義 荒木 栗原 演習 全員
7	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（合併症予防に必要な技術の演習）	4～6	演習 全員
8	クリティカルケアに必要な知識と技術（危機的状態にある患者のアセスメント） 観察の実際	1,2	講義 栗原 荒木
9	クリティカルケアに必要な知識と技術（救急処置と看護） 基本処置・気管内挿管・心臓マッサージ法・AEDなど	1,2	講義 栗原 荒木
10	演習：救急時に必要な援助技術	1～3	演習 全員
11	クリティカルケアに必要な知識と技術（危機的状態にある患者の主要病態と看護）	1,2	講義 栗原 荒木
12	クリティカルケアに必要な知識と技術（危機的状態にある患者の主要病態と看護）	1,2	講義 栗原 荒木
13	演習：危機的状態にある患者の病態に応じた援助技術	1～3	演習 全員
14	クリティカルケア・周手術期看護に必要な知識と技術のまとめ	1,2,4	講義 栗原 荒木

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	周手術期看護論	雄西智恵美編集	ヌーヴェルヒロカワ	2,300円＋税
	救急看護論	山勢博彰編集	ヌーヴェルヒロカワ	1,600円＋税
参考書	周手術期看護1. 周手術期看護2 竹内登美子 編著 医歯薬出版 看護技術ベーシック 藤野彰子：監修 医学芸術社 急性期看護論 池松裕子編集 ヌーヴェルヒロカワ			
その他の資料				

【評価方法】

定期試験 60% レポート 30%  
出席 10% で評価する

【履修上の留意点】